

令和元年第7回

幸手市教育委員会定例会会議録

招 集 期 日	令和元年7月9日（火）午前9時30分					
開 会 場 所	幸手市役所第二庁舎 2階 第1会議室A					
開会の日時・宣告者	令和元年7月9日（火）午前9時30分				山西 実	
閉会の日時・宣告者	令和元年7月9日（火）午前11時52分				山西 実	
出席 状況	職 名	氏 名	摘 要	職 名	氏 名	摘 要
	教 育 長	山 西 実	出席	教育委員	満木 信吉	出席
	職務代理者	尾島 紗緒里	出席	教育委員	齊藤 一夫	出席
	教育委員	前田 一郎	出席	教育委員	会田 研司	出席
傍聴人：0人				書記：大竹 孝典・河口 奈緒		
議 事 参 与 者	職 名	氏 名	職 名	氏 名		
	教 育 部 長	杉 田 和 洋				
	総 務 課 長	長 田 広				
	指 導 課 長	堀 越 成 夫				
	社会教育課長	木 村 博				
	春日部市教育委員会 学校教育部 学務指導担当部長	柳 田 敏 夫				

会議事件名	顛末
<p>開 会 午前9時30分</p> <p>日程第1 前回会議録の承認</p> <p>日程第2 協議事項(先進地事例から学ぶ～庄和北部地域の学校再編について～)</p>	<p>教育長 開会を宣する。</p> <p>教育長 令和元年第6回教育委員会定例会の会議録の内容について質問を求める。 ≪質疑≫ 質疑なし。 ≪承認≫ 全員異議なく承認。</p> <p>柳田学務指導担当部長 庄和北部地域の学校再編について、資料等に基づき説明する。 ≪質疑≫</p> <p>満木委員 庄和北部地域の保護者と住民を対象に、平成26年4月21日から平成26年4月28日の期間で実施した「学校再編に関するアンケート」の結果で、地域の方が74%も賛成された事実に驚いた。その理由を伺いたい。</p> <p>柳田学務指導担当部長 個人的な見解となるが、まずは行政職員が、地域への説明を丁寧に行った成果が出たと考えている。また、地域の方も、学校によっては1クラスに3名しか児童がいない現状も見ているので、この課題解決を考えたときに、統合をポジティブに捉えていただけたのではないかと考えている。</p> <p>教育長 統合となった2校の小学校は、100年以上の歴史があり、地域にとっては大変思い入れの強い学校だったと思う。そういった中で、74%の方が賛成の意を示したということは、凄い結果だと思う。</p> <p>満木委員 開校時に、地域外から6名の児童が編入したそうだが、通常では考えられない。</p> <p>柳田学務指導担当部長 説明会等で他の学校には無い特色ある教育活動をアピー</p>

ルしてきたので、そこに魅力を感じた方が、是非この学校で学びたいと編入を希望された状況である。

教育長

合併前の春日部地域と庄和地域に分けたとき、編入を希望した児童の内訳を伺う。

柳田学務指導担当部長

通学は、保護者に送り迎えをお願いすることになるが、全員、春日部地域からの編入である。

前田委員

大変魅力のある学校だが、足枷になるのはスクールバスや保護者の送り迎えによる通学の部分だと思う。検討する中で、例えば南桜井駅からスクールバスを出すといった話は無かったのか。

柳田学務指導担当部長

南桜井駅や春日部駅東口からスクールバスを出せば、児童・生徒を集めることができるということで交渉したが、最終的には市の方針として、学区内のみの就学となった。

前田委員

ミドルクラスの5～7年生は、50分授業で実施しているとのことだが、通常45分授業の5・6年生は大丈夫なのか。

柳田学務指導担当部長

校長からは、児童が抵抗を感じることなく受講していると聞いている。

前田委員

特色ある教育活動の取組の一つとして、共栄大学の学生を活用して9年生を対象に受験対策補習授業を実施しているとのことだが、時数はどのくらいなのか。

柳田学務指導担当部長

共栄大学の学生3～4名に来ていただいて、放課後に1～2時間程度で20～30日ほど、教員と一緒に補習授業を実施している。

前田委員

出席は、生徒の希望制なのか。

柳田学務指導担当部長

そのとおりである。

前田委員

民間のスイミングスクールと連携して水泳の授業を実施しているとの話があったが、プールの改修工事にかかる費

	<p>用面も含めて検討したのか。</p> <p>柳田学務指導担当部長 プールの底上げにかかる改修費とスイミングスクールを活用した場合を対比した結果、スイミングスクールに決定した。結果的に非常に良かったと感じている。</p> <p>前田委員 今後の話になるが、9年間の義務教育を一貫して行うなかで、小学校の前期課程を修了した児童が、私立中学の受験を選択するのに、支障はないのか。</p> <p>柳田学務指導担当部長 基本は9年間の一貫教育なので、卒業まで在学してほしいが、6年間で修了した時点で私立中学への受験希望が出された場合は、検討する必要があるかと思う。</p> <p>会田委員 この統廃合により、小学校が複式学級の解消や、教科担任制が導入されるなど、良い面もあるが、中学校の小規模化は解消されていないと思う。教科担任は不足していないのか。</p> <p>柳田学務指導担当部長 不足分については、非常勤講師で対応している。</p> <p>会田委員 中学校の小規模化が解消されないため、野球などの部活動ができない問題を考えたとき、スクールバスを出して、葛飾中学校に江戸川中学校を併合するという案は出なかったのか。</p> <p>柳田学務指導担当部長 宝珠花小学校と富多小学校の合併がなぜ可能になったかと言うと、江戸川中学校に新しい義務教育学校を作るという前向きな目標ができて、地域の方からもある程度の理解が得られたためであり、葛飾中学校と合併することは、地域が許さないとと思う。</p> <p>会田委員 今年度、谷原中学校と中野中学校が合併して、春日部南中学校が開校したが、その時は、小中一貫校を作るという話は挙がらなかったのか。</p> <p>柳田学務指導担当部長 地域性でいうと庄和北部と春日部南部では異なるので、地域の実態に合わせた形で今の形態となった。</p>
--	---

満木委員

庄和北部地域の現状は、本市の現状によく似ていると思って、大変興味深く伺っていた。しかし、本市でこの問題を地域に投げかけた時に、地域性の問題から74%もの賛成が得られる感触を私は持っていない。そうした時に、小規模学級であることに対して、保護者に危機感を持っていただくことが非常に重要だと思う。「AI vs. 教科書が読めない子どもたち」著書の新井紀子先生が、「これからの義務教育において必要なのは、1、2に読解、3、4が遊びで5に算数、そして日本の義務教育が世界に誇る給食当番や掃除当番などの班活動をやりなさい。そこで身に付けた社会性こそ社会に出て生きるための糧になる。」と書かれている。小規模教育のリスクを保護者に強くアピールする必要があると思うが、ご意見を伺いたい。

柳田学務指導担当部長

少人数の良さもあると思うが、班活動を行うには、ある程度の人数が必要となるし、人との係わりを作るという点では課題だと思う。適正な人数を考慮した学校づくりが必要ではないかと思う。

満木委員

幸手市の現状を考えると、伝統ある小学校を中心に、小中一貫校とするのも一つのプランではないかと思った。大変参考になった。

齊藤委員

江戸川小中学校の部活動は、7～9年生だけなのか、それとも5・6年生も含まれるのか。

柳田学務指導担当部長

5・6年生は希望制だが、ほとんどの児童が参加している。ただし、5・6年生は、時間的な制限がある。

齊藤委員

9学年をジュニア・ミドル・ハイの三つに区切った仕組みは、小学校から中学校への進学をスムーズにする取組で、素晴らしいと感じた。

尾島職務代理者

制服は、7年生になってから着るのか。また、前期課程修了時には、修了式があるのか。

柳田学務指導担当部長

制服は7年生から着る。また、前期課程修了時に修了式が

<p>日程第 3 議案第 25 号 幸手市社会教育委員の 委嘱について</p>	<p>ある。ただし、卒業式のように大々的に執り行うものではなく、3学期の終業式で修了証を授与する形である。</p> <p>尾島職務代理者 卒業式は、9学年修了時の1回だけなのか。</p> <p>柳田学務指導担当部長 そのとおり。</p> <p>尾島職務代理者 義務教育学校出身ということが、高校受験において不利に働くということはないか。</p> <p>柳田学務指導担当部長 他の中学校と同様に、進路指導や学力テストも実施しているので、不利に働くということはない。</p> <p>齊藤委員 本市では、野球のスポーツ少年団に加入している小学生が、中学生になるとクラブチームへ加入してしまうため、中学校に部活がない現状がある。費用や送迎する保護者の問題もあると思うが、クラブに加入したくてもできない子どもが部活に参加できると良いと思っているが、江戸川小中学校の現状はどうか。</p> <p>柳田学務指導担当部長 職員や生徒の人数も少ないことから、学校内で活動の場を保障することは難しい状況である。生徒も活動の場を外部に求める傾向が強くなってきている。</p> <p>教育長 教頭等は二人、配置があるのか。</p> <p>柳田学務指導担当部長 小学校用と中学校用で、教頭、教務、養護は二人の配置がある。事務職員は原則一人だが、市費で一人追加配置している。</p> <p>社会教育課長 議案書により説明する。 《質疑》</p> <p>尾島職務代理者 幸手市社会教育委員設置条例に委嘱の基準が三つ定められているが、このうち今回、「学識経験のある者」からの委嘱はなかったのか。</p>
--	---

<p>日程第 4 行政報告 1 教育長報告</p> <p>2 事務局からの 主要な報告</p>	<p>社会教育課長 前回に引き続き、今回も「学識経験のある者」からの委嘱はない。 《承認》 全員異議なく承認。</p> <p>教育長 1 各種教育長会議等 2 学校運営に係る校長面接 3 講演等 について資料により説明する。</p> <p>総務課長 1 校務用パソコン機器の入替について</p> <p>指導課長 1 夏季休業中における幸手市教育委員会主催教職員研修会等 2 幸手市内小学校林間学校 3 夏季休業日等</p> <p>指導課長（吉田幼稚園） 1 7月の行事予定</p> <p>社会教育課長 1 幸手市立図書館外1施設の指定管理者の選定について 2 駐日ベナン大使館による小学生へのベナン紹介講演会 3 非行防止街頭キャンペーン（幸手市青少年育成推進員） 4 ジャンボかるた体験&郷土資料館見学（幸手市青少年相談員協議会） 5 子どもセンターバスツアー（2回実施） 6 東部地区人権教育実践報告会 7 埼玉葛郡市教職員合同現地研修会（埼玉葛郡市人権施策推進協議会） 8 電車DE清水公園（幸手市青少年相談員協議会） 9 第15回ランチタイムコンサート 10 カヌー体験</p> <p>社会教育課長（公民館）</p>
---	--

	<ol style="list-style-type: none"> 1 公民館クラブ連絡協議会第3回常任理事会 2 第31回夏のおはなし会 3 西公民館主催事業(ふれあいサロン) 4 中央公民館主催事業(親子ボウリング教室) 5 北公民館主催事業(占い講座) 6 中央公民館主催事業(スリッパ卓球大会) 7 西公民館主催事業(ピラティス講座) 8 公民館共催事業 第5回幸手本因坊・子ども本因坊囲碁大会《幸手市囲碁連盟との共催》 9 修繕・工事等 10 6月の利用状況 <p>社会教育課長（郷土資料館）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 報告事項 2 今後の事業予定 <p>社会教育課長（図書館）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 報告事項 2 利用状況 3 今後の事業予定 4 予約の多い図書（上位5冊） 5 購入図書リスト <p>社会教育課長（体育施設）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 利用状況 2 7月の主な行事予定 <p>について資料により説明する。</p> <p>《質疑》</p> <p>満木委員</p> <p>本年6月の図書館本館利用者数が4,974人、香日向分館が2,033人とのことだが、本館の規模からするともっと差が出るべきだと思う。現状で差が出ないようであれば、貸出業務を公民館で出来るようにするなどして、本に親しむ機会を増やしていただきたい。今回の指定管理者募集要項には間に合わないと思うので、次回、検討いただきたい。</p> <p>社会教育課長</p> <p>公民館では、各公民館の図書コーナーの本の貸出を行うとともに、図書館で選定した本をある一定期間、各公民館に配置して貸し出す取り組みを実施している。本館にある本を必要に応じてどの公民館でも借りられるような取組を、今後検討していきたい。</p>
--	--

<p>日程第 5 その他 1 次回定例会の 日程</p> <p>2 次回の協議事項</p> <p>3 その他</p>	<p>会田委員 市内小学校の林間学校実施状況報告の中で、権現堂川小学校は隔年で実施しており、今年度は修学旅行の実施との報告があったが、詳しく伺いたい。</p> <p>指導課長 権現堂川小学校は、5・6年生合同で宿泊的行事を実施しており、昨年度は林間学校、今年度は修学旅行という形で交互に実施している。</p> <p>会田委員 児童数が少ないための取組かと思うが、他校は大丈夫なのか。</p> <p>指導課長 八代小学校が、昨年度は修学旅行で、今年度が林間学校という形で実施している。</p> <p>会田委員 吉田小学校はどうか。</p> <p>指導課長 吉田小学校は、別々で実施している。</p> <p>各委員の意見を調整した結果、8月の定例会については、次のとおり決定する。 第8回教育委員会定例会 日時 令和元年8月20日(火) 午前9時30分～ 場所 中央公民館 1階 講座室</p> <p>総務課長 8月の協議事項は、学校としての働き方改革等を議題として、上高野小学校の教員を呼んで、帰る会議の取組など、現場の生の声を伺いながら、協議を行うこととする。</p> <p>会田委員 本日の協議事項を受けて、幸手市では今後、どう進めていくことになるのか。</p> <p>総務課長</p>
--	--

吉田幼稚園の廃園が決定したことを機に、地域の方から小規模校の今後の在り方についてタウンミーティングで質問があり、市長はこれを今後検討していく喫緊の課題の一つであるとした。

これを受けて市長部局から教育委員会へ検討したい旨の打診があったほか、市長部局では先般、部長会議の構成メンバーで江戸川小中学校の視察を行った。これを踏まえて教育委員会では今回、柳田学務指導担当部長にお越しいただき協議したところである。

教育部長

まだ、教育委員会を含めた市全体として、坂戸市や飯能市などの先進事例を参考にしながら、検討・研究を進めていくという段階であることをご理解いただきたい。

教育長

検討・研究していく段階であり、具体的な作業のスタートは未定である。

会田委員

同じ敷地にあるのか。

教育長

同じ敷地に併設されていると聞いている。

会田委員

江戸川小中学校の校長は、一人で9学年を持つので大変だと思う。

教育長

校長が、小学校長会と中学校長会の両方に出席している状況である。

満木委員

今後のイニシアティブは、どこがとるのか。

教育部長

現段階では、どちらが主導するというのではなく、市長部局と教育委員会が共に検討・研究している状況である。

会田委員

越谷市に勤めていたときに、児童数の増減により学校編成を変更することがあったが、その時は、審議会が立ち上がり、そこで十分審議された答申を教育長が受けて、方向性を決める流れだった。

本市においても、教育委員会とは別に組織を立ち上げて、進めていくことになるのか。

<p>閉 会 午前 11 時 52 分</p>	<p>教育部長 春日部市などのやり方が、本市のスタイルに合うかも含めて研究していくことになるが、地元の方や保護者を含めた組織を立ち上げることは想定できる。現段階では、こういった形で進めることが、地域の理解を得ながら良い方向に進められるか研究している段階である。</p> <p>教育長 この課題については、引き続き関心を持って研究していきたい。</p> <p>教育長 閉会を宣す。</p>
-----------------------------	---

<p>ほか特に重要 と認める事項</p>	<p>な し</p>
	<p>上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和元年 8月20日</p> <p>教 育 長 山 西 実</p> <p>署名</p> <p>署 名 委 員 尾 島 紗 緒 里</p>